

未来の神戸づくりに向けた 大学等応援助成制度



神戸市のご紹介



海と山

自然環境

夜景



街並み

国際港湾都市として発展してきた神戸は、海と山、美しい街並み、そして、自然環境にも恵まれた、多様な魅力が溢れる街です。1868年の開港以来、多くの外国人が移り住み、常に海外からの多様な文化や新しい気風を取り入れながら、国際都市・神戸として個性豊かな発展を遂げてきました。

●全国有数の大学都市

本部を神戸市に設置する大学・短期大学数 21校
約7万人の大学、短期大学生の学び

●それぞれの大学は特色ある多様な学びを提供

文学・人文系、語学系、教育系、美術・芸術系、法律・政治系、社会学系、経済・経営系、情報系、理学系、農学系、医学系、薬学系、家政系など

●市と大学との連携事業の年間件数は約500件（令和3年度）

●市との包括連携協定大学は4校

神戸大学、神戸学院大学、甲南大学、関西国際大学

神戸市ふるさと納税実績



神戸市ふるさと納税の活用事例

こども本の森 神戸



伝統的建造物 北野天満神社拝殿・本殿板塀修理工事



未来の神戸づくりに向けた大学等応援助成

(ふるさと納税制度を活用した大学支援)

経緯

- 新型コロナウイルスの蔓延によって、経済的な困窮など様々な課題を抱える学生をさまざまな形で支援する市内の大学、短期大学、専修学校の取り組みを市としても応援するため、ふるさと納税の仕組みを活用した支援を令和2年7月から「**KOBE学生サポート市内大学等応援助成制度**」として開始。ふるさと納税を活用した新型コロナウイルス学生の支援としては、開始時点では全国初

方法

- 寄付者は、助成制度へ参画した大学を選択
- 集まった寄附をそれぞれの大学等に助成し、大学等は学生サポートに活用

KOBE学生サポート 市内大学等応援助成
新型コロナに負けずに頑張る学生を「ふるさと納税」で応援

イメージ



令和2年度 参画大学等一覧

大学・短期大学 17校、専修学校 6校
(国立大学 1校、公立大学 3校、私立大学 13校)

1	関西国際大学	7	神戸市外国語大学	13	神戸常盤大学	19	神戸国際調理製菓専門学校
2	甲南大学	8	神戸市看護大学	14	神戸常盤大学短期大学部	20	神戸電子専門学校
3	神戸大学	9	神戸松蔭女子学院大学	15	兵庫医療大学	21	神戸ブレーメン動物専門学校
4	神戸学院大学	10	神戸情報大学院大学	16	兵庫県立大学	22	神戸リハビリテーション福祉専門学校
5	神戸教育短期大学	11	神戸女子大学	17	流通科学大学	23	兵庫県歯科医師会附属兵庫歯科衛生士学院
6	神戸国際大学	12	神戸女子短期大学	18	愛甲学院専門学校		

* 五十音順、表記は令和2年の名称

令和2年度の使い道 (一部)

- 学生への緊急の修学等の一時金給付
- 学生へのオンライン授業実施に伴う経費等の給付 (PC他通信機器の購入、通信費に係る現金給付)
- オンライン授業配信のためのPCの購入及び通信アプリの導入

寄附者からのメッセージ (一部)

- ・市内の大学、専門学校で勉強されている全ての学生さんへ大変な状況ですが、頑張ってください。
- ・未来ある学生が挫折することなく勉学に励めますように、微力ながら応援させていただきます。
- ・コロナ禍で思うように学生生活が送れない後輩たちの学びの足しになりますように。頑張りましょう。
- ・学生に少しでもいい学校生活を送ってもらえれば幸いです。
- ・私も苦学生でした。将来の若い世代の活躍に少しでもお役に立てればと思います。
- ・たくさん思い出のある神戸を応援しています。
- ・大変な時期ですが夢と希望を持って頑張っていきましょう。
- ・頑張れ大学生！



令和4年度～

コロナの収束を見据えて、「未来の神戸づくりに向けた大学等
応援助成」として、学生支援に加えて、

- ・ 学生のアントレプレナーシップ教育
- ・ 社会人の学び直しを含むリカレント教育
- ・ さらには企業との様々な連携事業

等の大学の産学連携の取り組みに対しても支援できるように使
途を拡充するとともに、インセンティブ※も設定し、最大9割の
助成を実施 ※1,000万円以上の寄附などの場合

【参考：令和3年度の改正】

制度のさらなる活用促進に向け、大学による広報活動の努力義務や学校
ごとに寄附の目標額の設定などの改善

未来の神戸づくりに向けた大学等応援助成

(ふるさと納税制度を活用した大学支援)

令和3年度 参画大学等一覧

大学・短期大学18校、専修学校4校
(国立大学1校、公立大学3校、私立大学14校)

1	関西国際大学	7	神戸国際大学	13	神戸親和女子大学	19	神戸国際調理製菓専門学校
2	甲南大学	8	神戸市外国語大学	14	神戸常盤大学	20	神戸電子専門学校
3	甲南女子大学	9	神戸市看護大学	15	神戸常盤短期大学部	21	神戸リハビリテーション福祉専門学校
4	神戸大学	10	神戸情報大学院大学	16	頌栄短期大学	22	専門学校トヨタ神戸自動車大学校
5	神戸海星女子学院大学	11	神戸女子大学	17	兵庫県立大学		
6	神戸学院大学	12	神戸女子短期大学	18	流通科学大学		

* 五十音順、表記は令和3年の名称

令和4年度 参画大学等一覧

大学・短期大学18校、専修学校4校
(国立大学1校、公立大学3校、私立大学14校)

1	関西国際大学	7	神戸国際大学	13	神戸親和女子大学	19	神戸国際調理製菓専門学校
2	甲南大学	8	神戸市外国語大学	14	神戸常盤大学	20	神戸電子専門学校
3	甲南女子大学	9	神戸市看護大学	15	神戸薬科大学	21	神戸リハビリテーション福祉専門学校
4	神戸大学	10	神戸情報大学院大学	16	頌栄短期大学	22	専門学校トヨタ神戸自動車大学校
5	神戸海星女子学院大学	11	神戸女子大学	17	兵庫県立大学		
6	神戸学院大学	12	神戸女子短期大学	18	流通科学大学		

* 五十音順、表記は令和4年の名称

令和4年度活用事例（一部）

- ◆社会人を対象としたリカレント教育
- ◆留学生向け日本文化研修プログラムの実施
- ◆学生活動・地域連携事業の促進
- ◆教育研究環境の整備
- ◆寮生、下宿生、留学生等に対する生活（経済的）支援
- ◆オンライン授業の受講環境支援事業
- ◆新型コロナウイルス感染予防対策

実績

令和2年度実績	寄附件数：411件	寄付総額：45,782,000円
令和3年度実績	寄附件数：922件	寄付総額：64,073,300円
令和4年度実績	寄附件数：993件	寄付総額：76,077,000円

令和5年度 参画大学等一覧

大学・短期大学17校、専修学校4校
(国立大学1校、公立大学3校、私立大学14校)

1	関西国際大学	7	神戸国際大学	13	神戸常盤大学	19	神戸電子専門学校
2	甲南大学	8	神戸市看護大学	14	神戸薬科大学	20	神戸リハビリテーション福祉専門学校
3	甲南女子大学	9	神戸情報大学院大学	15	頌栄短期大学	21	専門学校トヨタ神戸自動車大学校
4	神戸大学	10	神戸女子大学	16	兵庫県立大学		
5	神戸海星女子学院大学	11	神戸女子短期大学	17	流通科学大学		
6	神戸学院大学	12	神戸親和大学	18	神戸国際調理製菓専門学校		

*五十音順、表記は令和5年の名称

大学の取り組み事例紹介

1. 神戸学院大学
2. 甲南大学
3. 神戸国際大学

神戸学院大学の概要

1. 年譜

- 1966年 神戸学院大学設置認可、栄養学部開設
- 1967年 法学部、経済学部開設
- 1972年 薬学部開設
- 1990年 人文学部開設
- 2004年 経営学部開設
- 2005年 総合リハビリテーション学部開設
- 2007年 ポートアイランドキャンパス開設
- 2014年 現代社会学部開設
- 2015年 グローバル・コミュニケーション学部開設
- 2018年 心理学部開設
- 2019年 神戸三宮サテライト開設、ポートアイランド第2キャンパス開設



▲ポートアイランドキャンパス (神戸市中央区)

2. 学生数 (2023年5月1日現在)

10学部・8大学院研究科 11,358名

●学部学生 11,249名

法学部／経済学部／経営学部／人文学部／心理学部／現代社会学部／グローバル・コミュニケーション学部／総合リハビリテーション学部／栄養学部／薬学部

●大学院生 109名

法学研究科／経済学研究科／人間文化学研究科／心理学研究科／総合リハビリテーション学研究科／栄養学研究科／薬学研究科／食品薬品総合科学研究科



▲有瀬キャンパス (神戸市西区)

過去3年間の「ふるさと納税」を活用した取組

3. 年度別寄付額および使途

年度	寄付額 (本学への交付額)	寄付人数	使途	詳細
令和2年度	1,872,000円 (1,684,000円)	44名	遠隔授業の実施に伴う 特別奨学金給付事業	全学生に 遠隔授業の準備費として 一律50,000円を支給
令和3年度	2,236,000円 (942,550円)	74名	新型コロナウイルス 接種促進事業	ワクチン接種した学生に 交通費補助として Quoカード2,000円を支 給
令和4年度	2,076,000円 (1,070,400円)	65名	社会人を対象とした リカレント教育プログラム	社会福祉に携わる援助職 のためのキャリアアップコース

4. これまでの課題

ふるさと納税の開始が9月・10月からであったため、1年を通じたの広報活動ができず、大学ホームページやSNSによる短期間の告知に留まっていた。

【参考】令和2年度の取組

- 使途 : 遠隔授業の実施に伴う特別奨学金給付事業
- 詳細 : 全学生に、遠隔授業の準備費として一律50,000円を支給

オンライン授業の実施に伴う特別奨学金（給付）について

2020/04/27

新入生・在学生の皆様
保証人（保護者）の皆様

学校法人神戸学院
理事長 西本誠實
神戸学院大学
学 長 佐藤雅英

国から「緊急事態宣言」が発出され、兵庫県からは教育機関への休業要請が出される中、新型コロナウイルスの感染拡大は簡単に収まらない状況が続いています。

このような状況の中、神戸学院大学におきましては、すでにお知らせしていますように、2020年度の授業開始を5月11日に延期するとともに、授業はすべてオンラインで開始することを決定しています。それに伴い、新入生・在学生の皆様には、オンラインでの授業の受講環境を整えていただくよう、お願いしています。

神戸学院大学では、これに対する支援策を検討してまいりましたが、本学で実施いたしました「インターネット環境調査」の結果もふまえ、以下のとおり決定いたしました。

本年5月1日現在の在大学生（学部学生、大学院生）の全員に対して、オンライン授業の実施に伴う特別奨学金として、一律5万円を支給いたします。5月末までを目途に支給いたしますが、支給方法については現在検討中です。決定いたしましたら、改めてご案内いたします。

十分な補償ではないかもしれませんが、オンライン授業という変則的な形での授業に備え、実りある学びにつなげていただきたく存じます。

*なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響で経済状況が悪化した学生の皆様も多いと承知しています。このような学生の皆様への支援策については、別途、検討しています。内容が決まり次第、改めてお知らせいたします。

[【緊急経済支援奨学金（給付）について】](#)

以上

[2020/05/08 遠隔授業（オンライン授業）の実施に伴う特別奨学金（給付）の受給方法について（ご案内）](#)

[2020/05/26 遠隔授業（オンライン授業）の実施に伴う特別奨学金（給付）の申込について（ご案内）](#)




▲新型コロナで延期になっていた経済学部の新入生ガイダンス（2020年9月14日）

【参考】令和3年度の実施

- **用途** : 新型コロナウイルス接種促進事業
- **詳細** : ワクチン接種した学生に、交通費補助としてQuoカード2,000円を支給

新型コロナウイルスワクチン接種補助



- 対象** : ワクチンを2回接種した学生
(科目等履修生、聴講生、特別聴講生、研究生、委託生除く)
- 補助内容** : QUOカード (クオカード) 2,000円分
※ワクチン接種会場までの交通費補助として
- 申請期間** : 9月1日 (水) ~12月15日 (水)
- 申請方法** : 2回のワクチン接種を終えたことを証明するもの
(予防接種済書、ワクチン接種記録書等) を学生支援センター
(KPC1もしくはKAC) 窓口にて提示ください。
- 申請窓口** : 所属キャンパスの学生支援センター窓口で申請ください。
KPC : ポートアイランド第1キャンパスA号館1階2番窓口
KAC : 有瀬キャンパス3号館1階窓口
- 持ち物** : 学生証、2回のワクチン接種を終えたことを証明するもの
(予防接種済書、ワクチン接種記録書等)
※予防接種済書、ワクチン接種記録書等には氏名の記載があるもの

▲大学掲示板での案内



▲ポートアイランド第2キャンパスでの
ワクチンの集団接種 (2021年6月22日) 15

【参考】令和4年度の取組

- 使 途 : 社会人を対象としたリカレント教育プログラム
- 詳細 : 社会福祉に携わる援助職のためのキャリアアップコース

神戸学院大学 社会人キャリアアップ講座

「高齢者ケアキャリアアップコース」
「社会福祉に携わる援助職のためのキャリアアップコース」

**受講者
募集**

高齢者・障がい者ケアに携わる人材が社会的ニーズに対して不足し、また知識や対応力を養うための体系的な教育が十分に提供されていないことが大きな課題となっています。そこでより高い専門性を備えた人材育成を目的に、社会福祉の現場で働く方を対象としたコースを開講します。

各コースの詳細は、ホームページまたは資料請求先にお問い合わせください。

コ ー ス	高齢者ケアキャリアアップコース	社会福祉に携わる援助職のためのキャリアアップコース
実施期間	2022年9月18日(日)～2022年12月18日(日) 日曜日(朝8時～、不定期開催)12日間 計37時間	①[障害者の就労支援と労働機会の創出]について学ぶコース 2022年11月12日(土)、19日(土) 4時間×2日=8時間 ②[障害者福祉におけるストレスアプローチや エンパワメント、リカバリーについて学ぶコース] 2022年11月26日(土)、12月10日(土) 4時間×2日=8時間
講座内容	高齢者・障害者ケアの歴史を整理し、現実の分析や 実際についての広範囲対話・技術等を学ぶ。	①障害者の労働と参加、障害者の就労支援と労働機会の創出 ②身体障害、精神・発達障害への支援とストレス
応募資格	応募時に、高齢者ケア施設(特別養護老人ホーム・ 老人保健施設・デイサービス・グループホーム等)に 勤務、介護関係の業務に携わっている方で、応募に 際して当該施設長または本講座担当講師から講座 受講の推薦を得られる方。	①福祉関連領域(行政機関・医療機関・学校等を含む)で 勤務されている方、もしくは勤務の経験がある方。 ②授業に全日出席できる方
応募締切	2022年8月31日(水)	2022年9月30日(金)
実施場所	神戸学院大学有蔵キャンパス	神戸学院大学有蔵キャンパス

資料請求 神戸学院大学 社会連携部 社会人キャリアアップ講座事務局 TEL 078-974-6210 x38月11日～x38月22日までは
〒651-42180 神戸市西区伊川谷町有蔵518 Email kgucare@kobegakuin.ac.jp

【受講者の皆様へのご案内】
受講後に資格がある方や体験不足の方は受講料も
お返しください。
マスクを着用してください。
【マスクを着用されていない方は入室をお断りいたします】
新型コロナウイルス感染症拡大防止により講座が中止に
なる場合があります。
※詳細は大学ホームページをご覧ください

交通アクセス
神戸学院大学有蔵キャンパス
●神戸市地下鉄「有蔵」南園駅西側一階(7番)乗り場から、徒歩約1分(神戸学院大学行)に乗り、「神戸学院大学」
下車(徒歩約5分)
●神戸市定地下鉄「伊川谷」駅西側13番「有蔵」乗り場から、徒歩約1分(神戸学院大学行)に乗り、「神戸学院大学」
下車(徒歩約13分)
●キャンパス周辺バス(三宮バス)東口KAC沿線乗り場から有蔵キャンパス(徒歩約1分)に乗り、「神戸学院大学」
下車(徒歩約30分)

神戸学院大学

▲神戸新聞に掲出した募集広告



▲受講の様子 (2022年11月14日)

令和5年度の「ふるさと納税」を活用した取組（予定）

5. 令和5年度の使途（予定）

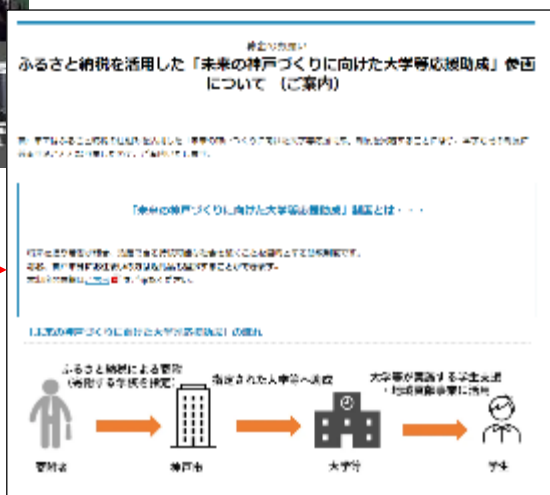
- ①大学都市神戸 地域連携プラットフォーム参画に係る事業
- ②学生の生活支援
- ③教育研究環境の整備

6. 令和5年度の広報活動

令和5年度より、年間を通じてふるさと納税に寄付することができるようになったため、年度はじめから募金の告知を行っている。具体的には、大学ホームページ「募金のお願い」に掲載するとともに、教育後援会および同窓会の会報誌にふるさと納税のチラシを同封し、全会員に案内している。

さらに、学長・副学長等が支部総会に出向き、直接、ふるさと納税による支援を呼びかけている。

また、冬の賞与時期にあわせて25日間程度、Facebook広告への掲出も予定している。



▲大学ホームページ



▲ふるさと納税のチラシ



甲南大学の概要

1. 年譜

- 1951年 甲南大学を開学
文理学部を設置
- 1952年 経済学部を増設
- 1957年 文理学部を文学部と理学部に分離
- 1960年 法学部と経営学部を増設
- 1964年 甲南大学大学院を開設
- 1997年 大学新1・3号館竣工
- 2001年 理学部を理工学部に変更
- 2004年 大学院（専門職）開設
- 2008年 知能情報学部を増設
- 2009年 マネジメント創造学部を増設
フロンティアサイエンス学部を増設
- 2020年 リカレント教育センター開設
- 2022年 社会連携機構を開設



▲ポートアイランドキャンパス（神戸市中央区）

2. 学生数（2022年度）

8学部・4大学院研究科 8,832名

●学部学生 8,667名

文学部／理工学部／経済学部／法学部
／経営学部／知能情報学部／マネジ
メント創造学部／フロンティアサイエ
ンス学部／

●大学院生 165名

人文科学研究科／自然科学研究科／社会
科学研究科／フロンティアサイエンス研
究科



▲岡本キャンパス（神戸市東灘区）

多世代が交流する地域に開かれた

「マルチステージ・キャンパス」

の実現に向けて取り組んでいる

※20歳代～80歳代が甲南大学のキャンパスで学ぶ



人生を彩る多彩なコース構成

<2023年度コース>

5コース開講

- 人文科学系コース
- 社会科学系コース
- 多文化・国際系コース
- 自然科学系コース
- 情報系コース

高い満足度・高いリピート率

2022年度履修生の継続率 **7割**

プログラム満足度 (2022年度) **97%**

1年間のプログラムとして5つのコースを開講
下表が1コースの中心となる履修科目のリストです。

科目	履修科目	単位数	履修人数
人文科学系	人文社会学概論	2	196
社会科学系	社会学概論	2	196
多文化・国際系	国際文化概論	2	196
自然科学系	自然科学概論	2	196
情報系	情報科学概論	2	196

甲南大学
KONAN UNIVERSITY

多忙な現役社会人の学びに対応

平日**夜間**・**土曜日**に開講！
夜間授業は18時40分～と20時20分～
授業開始。

オンライン授業・オンデマンド学習に対応

通学不要！Webでどこからでも受講できる

高い満足度

プログラム満足度 (2022年度) **100%**

未来の神戸づくりに向けた大学等応援助成

(ふるさと納税制度を活用した大学支援)



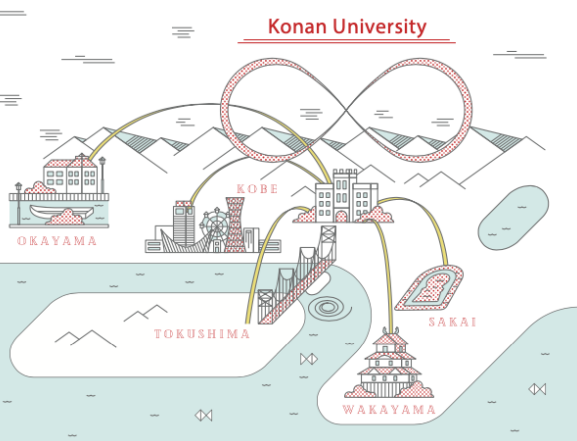
地域連携センター

2023年 (予定)

関西湾岸SDGsチャレンジ

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

関西湾岸
SDGs
チャレンジ



「関西湾岸SDGsチャレンジ」は、神戸市・堺市・和歌山市・徳島市・岡山市の協力のもと、甲南大生と地元高校生と一緒にSDGsの観点から地域課題の解決に挑戦するプロジェクトになります。2022年度は、感染症対策を十分に実施した上で、3年ぶりに全参加者対面でグループワーク・チャレンジアカデミー（最終発表会）を開催することができた。一方、研究期間中の活動はオンラインでのミーティングを用いることで、より一層学びを深めることができた。

取組みの様子は、朝日新聞の紙面でも取り上げられている。

参加学生数（甲南大生）：20名

<2022年度 各市の発表テーマ>

▼神戸市：これからの神戸のモビリティを考える

▼堺市：生ごみをゼロに
新たな循環型社会を目指す

▼和歌山市：MERMAID TEARS CHALLENGE

▼徳島市：未来へ結ぶ阿波おどり
～若者が紡いでいく伝統～

▼岡山市：アートで拓く多様な交流



神戸国際大学の概要

1. 年譜

- 1968年 八代学院大学（現：神戸国際大学）開学
- 1970年 教職課程認可
- 1972年 コース制度導入
(経済学・経営学・貿易学・観光学)
- 1992年 大学名称を神戸国際大学へ変更
- 2002年 六甲アイランドへ移転
- 2006年 チャペルにパイプオルガンを設置
- 2009年 リハビリテーション学部開設
- 2022年 学生食堂（スカイコート）
リニューアルオープン



▲パイプオルガン

2. 学生数 (2022年5月1日現在)

2学部 1823名

●学部学生 1,823名

経済学部／リハビリテーション学部



▲キャンパス (神戸市東灘区)



未来の神戸づくりに向けた大学等応援助成の活用例

Case1：優れた外国人留学生の獲得と定着支援事業

★留学生向けサポートや行事の充実による定着促進

神戸国際大学の特色のひとつである「国際性」を象徴するのが400名近い留学生の存在である。彼らが本学在学中に高い日本語能力と専門知識を習得し、神戸市内企業に就職することを目指した「留学生就職促進教育プログラム」を始動させた。それと並行して優秀な留学生を卒業後も市内に定着させるため、在学中より充実したサポートと多彩な行事を開催している。

本学の留学生育成プラン

◆優秀な人材を育成する教育面



高い水準の日本語教育

万全の就職サポート体制

神戸で働く人材

◆日本への満足度、定着度の向上



多彩な行事の開催

サポート制度の充実

神戸が好きな人材

★地元就職に向けた留学生就職サポート

Ex1:学内での留学生向け合同説明会実施



神戸国際大学内アクアホールにおいて4年生向け合同企業説明会を実施し、10社以上の企業にご出展頂いた。

Ex2:神戸市主催の企業説明会への参加促進

神戸サンポーホールにて開催された「外国人向け合同企業説明会」の参加促進のため、大学から直行バスを運行し79名を動員した。



【季節の行事】

餅つきや七夕などの伝統行事に触れることで日本文化を体感する。



【卒業生交流】

卒業後も国内企業で活躍する卒業生との定期的な懇親会を実施して



【旅行行事】

雪の降らない国から来た留学生に向けてスキー研修を実施した。



日本人学生による留学生サポーター制度



留学生との会話パートナーや、上記の研修旅行や季節行事の企画や運営、来日時の関西国際空港へ出迎えなど留学生が日本での生活において困ることのないようにサポートする日本人学生によるサポートシステムである。

未来の神戸づくりに向けた大学等応援助成の活用例

Case2：地域社会との連携事業

★リニューアルした学生食堂を活かした地域連携

コロナ禍で営業を停止していた学生食堂の営業再開時期にあわせ、食堂のメニューおよび内装を完全リニューアルした。リニューアル後は「地域の憩いの場」としての学生食堂を目指し学生と食堂が連携して様々な取り組みを展開している。今後も地域に開かれた学生食堂を特色とした地域連携を活発にしたいと考えている。

◆ 学生食堂リニューアルから現在までのあゆみ

改装前

- 学生による食堂改装プロジェクト発足
- 食堂愛称の学生公募
- 愛称「スカイコート」に決定

改装直後

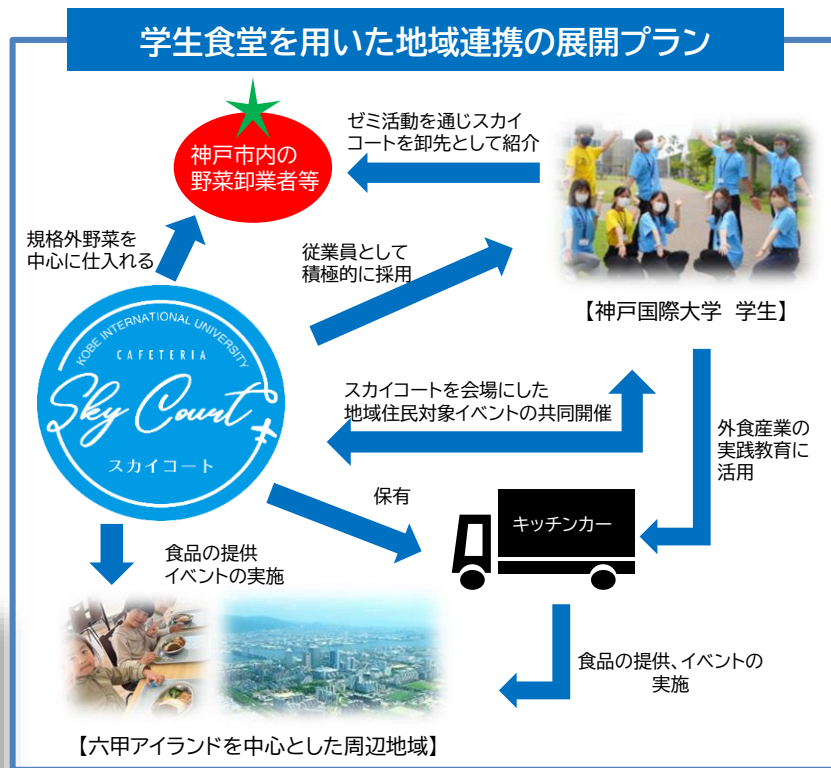
- オープンセレモニーを開催
- 店舗スタッフを学生から積極的に採用
- 久元喜造神戸市長による学生との意見交換会の会場

改装後

- 春休み期間中のフードリボンプロジェクト実施
- 地産地消に向けた近隣からの野菜の調達
- 夏休み期間中の学生と地域住民の交流行事の企画



学生食堂を用いた地域連携の展開プラン



未来の神戸づくりに向けた大学等応援助成の活用例

Case3：高大連携活動

★近隣高等学校との連携とアカデミックインターンシップの実施

近畿地方を中心に本学教員、留学生、学生課外活動団体による出張講義を行い高大連携を深めている。本学の高大連携の魅力は座学だけではなく、実技や実体験を用いた能動的な内容にある。また、高校生に向けた早期大学教育体験の場としてオープンキャンパスとは異なる「アカデミックインターンシップ」を長期授業休止期間中に開講している。



(中国語コース特別講義/
福井県内の県立高校にて)



(料理を通じた異文化交流/
大阪市内の私立高校にて)



(心肺蘇生法講習/
大阪府内の私立高校にて)



(多文化理解について/
神戸市内の私立高校にて)



(SDGs関連講義/
神戸国際大学附属高等学校)

★アカデミックインターンシップの実施

高校生を対象に、大学で行われている講義を本番さながらに体験する「アカデミックインターンシップ」は講義や実験・研究発表を通じて興味・関心を広げながら、進路選択や将来の夢を考えることを目的としている。プログラムは3日間続けて実施されており、複数のグループに分けられた参加者は最初の2日間で講義を受け、グループワークを重ねた後、最終日に研究成果発表を行う流れになっている。



主な課題

- 学校法人等の大学への寄付金の税額控除措置とふるさと納税制度による大学助成の区別（併用も可能）も含めた参画大学による広報との連携
→寄附潜在層と大学とのコミュニケーションの活発化への支援のあり方
- 大学OBやOGといった大学関係者以外の寄附潜在層の共感を呼ぶ大学による対象事業、取組みの発掘や組成
- ふるさと納税の返礼品開発に係る地域事業者と大学との連携の促進

今後の展望

- 寄附者の神戸市への期待と共感の受け皿である「ふるさと納税制度」を活用し、人材育成を含む市内の大学の未来の神戸づくりの取組みを支援するとともに、その成果を広く市内外に発信し、取組みの進化に繋げていきたい。
- 「ふるさと納税制度」の趣旨を踏まえ、参画する大学と連携し、用途対象の取組みのさらなる具体化を図り、寄付潜在層の期待や共感を得られる仕組みを工夫し、実践していきたい。
- 当該制度を通じて、大学が持つ多様なシーズを結集し、地域課題の解決など地域社会への貢献につながる大学の産学連携の活性化、発展につなげ、神戸の産官学共創のプラットフォーム機能を向上させていきたい。

ご清聴ありがとうございました

【問い合わせ先】

神戸市企画調整局産学連携推進課

TEL：078-322-5030

Mail：daigakurenkei@office.city.kobe.lg.jp